

# いっっぱい質問

本定例会での一般質問は、11人の議員が登壇し、さまざまな角度から市政をただしました。質問(Q)と答弁(A)を要約してお知らせします。

## 20年度の予算編成と重要課題

### 意識改革・産業振興・人づくり



齋藤 政人 議員  
(新風クラブ)

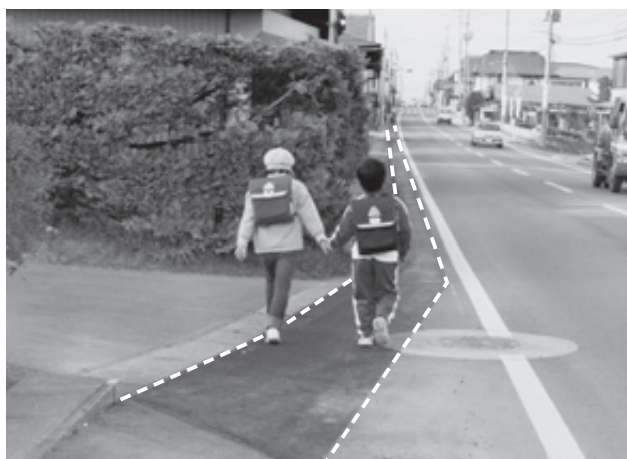
**Q** 予算編成について、市長は任期半ばに入り、さらに充実した地方自治体行政の改革に手腕を振

るう時と思う。景気回復は当地では先が見えない状態にある。市長は、マニフェストに掲げた公約を実行してきているが、20年度予算にどう生かされるか。最も重要な課題は何か伺う。次に道路特定財源が廃止された場合について、また、本市の

地方債残高と公債費比率の抑制に対する今後の見通しと考え方について併せて伺う。  
**A (市長)** 予算編成に当たっては、職員に自治体経営を意識して事業を構築するよう意識改革を求めている。重要課題としては、小さな市役所想

をさらに推進し、総合計画の将来像の青写真完成を目指す。そして20年度においては、職員の意識改革、産業振興、人づくりの3点について取り組んでいく。また、道路特定財源が廃止された場合、本市では約10億円の減収となる。そして、地方債等の抑制については、あるべき財政規模を見極めながらプライマリーバランス(※)の黒字化を続け、財政の健全化を確保していく。

※「プライマリーバランス」=国などの財政状況。国債などの借金を除いた歳入と、過去の借金の元利払いを除く歳出を比較する。歳入が多ければ財政が健全であることを示す。



歩行者の安全のために八幡コミュニティ会議で設置した「カラーロード」(点線内がカラーロード)



国民年金保養センターはなまき (金矢温泉)

## 保養センターはなまきの今後は

### 清算するまで責任を持って運営



小原 茂明 議員  
(花巻クラブ)

**Q** 年金保養センターはなまきは、年金被保険者や年金受給者等の憩いの場として利用され、健全

運営であるにもかかわらず本年6月をもって閉館することになった。市長はこの問題をどう認識しているか、また今後の対応について伺う。  
**A (市長)** 制度上の問題等から保養センター「はなまき」の閉館という苦渋の選択をしたが、当初

の予定より早くなることや、雇用の場が失われることには非常に悔しい思いをしている。今後は、財団法人の清算まで理事長として責任を持って協会の運営に当たる。

の実情に応じて設置されてきたが、施設の老朽化による改築や入所児童の減少による施設再編の検討も現実の課題である。そこで、保育所等再編計画について取り組むべきと思うが見解を伺う。  
**A (保健福祉部長)** 様々な保育ニーズに対応し、きめ細やかなサービスを提供するため、保育所の統廃合や民間活力の導入を視野に入れ、再編計画策定に取り組んでいる。

## 市政ここが聞きたい



鎌田 政子 議員  
(明和会)

**Q** 住民も職員も地域を理解し、地域のまちづくりの目標が見えることにより、職員は活力ある仕

## 市職員が働く目標どう考える 職員と住民が目標を共有する

事ができ、それを見て住民は未来に希望が持てるし協働のまちづくりにながっていくと思う。職員が働く目標についてどのように考えるか。

**A (市長)** 平成20年度に市全域の明確な目標となる青写真を完成させる。それを基にコミュニ

ティ会議が自らビジョンを描いていくよう支援し、それを職員と住民が共有することにより、地域づくりの未来に希望が持てることを確信している。

**災害発生時の対応は**  
**Q** 災害時には被災者の収容、物資の調達、飲料

水の確保、さらには情報伝達体制の充実が求められているが、二次災害の防止も含め、災害時の対応はどうなっているか。  
**A (総合防災部長)** 市民の皆様へは、広報車、防災行政無線、インターネット、報道機関等を通じて必要な情報提供に努めていく。特に避難した住民に対しては、避難場所に配置した職員を通して避難に関する情報、気象情報、被害に関する情報などを伝達していく。



「災害から住民の生命・身体・財産を守る」という信念の下、地域で精力的に活動を続けている消防団(1/6、消防出初式)